

平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業の進捗状況について

1 要旨・目的

農地・農業用施設及び林道施設災害復旧事業の令和4年3月末時点での進捗状況について報告する。

2 現状・背景

(1) 進捗について

農地・農業用施設については、おおむね契約を終え、工事完了は8割を超え、営農の再開が進んでいる。また、林道施設についてはすべて契約を終え、おおむね工事は完了している。

施設名	実施箇所※	契約済			工事完了		
		2月末まで ①	3月 ②	3月末まで ①+②	2月末まで ①	3月 ②	3月末まで ①+②
農地・農業用施設	4,273 (4,924)	4,105 (96.1%)	25	4,130 (96.7%)	3,282 (76.8%)	200	3,482 (81.5%)
林道施設	312 (315)	312 (100%)	0	312 (100%)	284 (91.0%)	11	295 (94.6%)

※ 実施箇所数は、自力復旧などの理由により申請を取り下げた（廃工）箇所を除く。（令和4年3月末現在）
< > は工事費40万円以上で、国庫補助事業として採択された箇所数。

(2) 取組状況

- ・ 地域毎に他の災害復旧工事等との調整を図りながら、随意契約等も積極的に活用し、計画的かつ効率的な発注を進めている。
- ・ 既に着手している箇所については、工事の完了に向け、進行管理を徹底している。
- ・ 市町と連携しながら、発注に向けた調整を継続しつつ、着実に工事を進め、営農の再開を図っている。

3 概要

(1) 対象者

農林業関係者

(2) 事業内容（実施内容）

農地・農業用施設、林道施設の災害復旧

(3) スケジュール

平成30年度から令和4年度

(4) 予算（国庫）

農地・農業用施設 195,403 千円 （※R4 過年災当初予算額）

(5) 今後の対応

令和3年度の災害等により、建設事業者の手持ち工事量が増大し、工事の進捗に影響が生じていることから、完了が令和4年度にずれ込む市町もある。

該当する市町との連携を密にし、引き続き、工事業者の受注状況に合わせて他工事等との調整を図りながら、計画的に復旧工事を進めていく。